

2歳児～何でもやりたがるけど、うまくいかないからかんしゃくをおこす2歳児～

1 身長・体重をみてみましょう

	今日の値	1歳6か月の値	伸び	平均
身長	<input type="text"/>	- <input type="text"/>	= <input type="text"/>	【10.6cm】
体重	<input type="text"/>	- <input type="text"/>	= <input type="text"/>	【2.7kg】

2 好き嫌いが出てきました

本能的に好きな味
(甘み・旨み)

苦手な味(酸味・苦み)
野菜の味

★おいしいとわかるので見ただけでお菓子やジュースが欲しい!

★五感でおいしいと感じる様に工夫
見た目 ⇒ 「おいしそう」
かおり ⇒ 「いいにおい」
食感 ⇒ ぱさぱさ、かたいを飲み込みやすく

3 遊びの体験によって体の機能も育ってきます 豊かな体験によって学習中

走り回り、ジャンプする

⇒ バランス感覚

汗をかき、汗腺が広がり
寒いとき、汗腺が閉じる

⇒ 体温調節

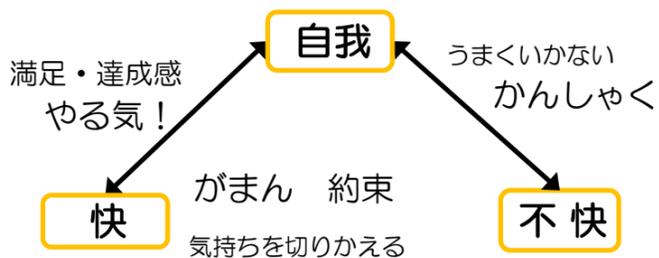
虫、鳥、飛行機など
近くや 遠くのものを見る

⇒ 動体視力

危ない、よごれる、お外はダメ、ではこのような感覚が育ちません。やりたいことはたくさんやらせて、お母さんはあまり神経質にならずに温かく見守ってあげましょう。

4 がまんする力をつけていきましょう

大脳



スーパーで食べたいお菓子があった時・・・お母さんどうしてますか？困ったことはありませんか

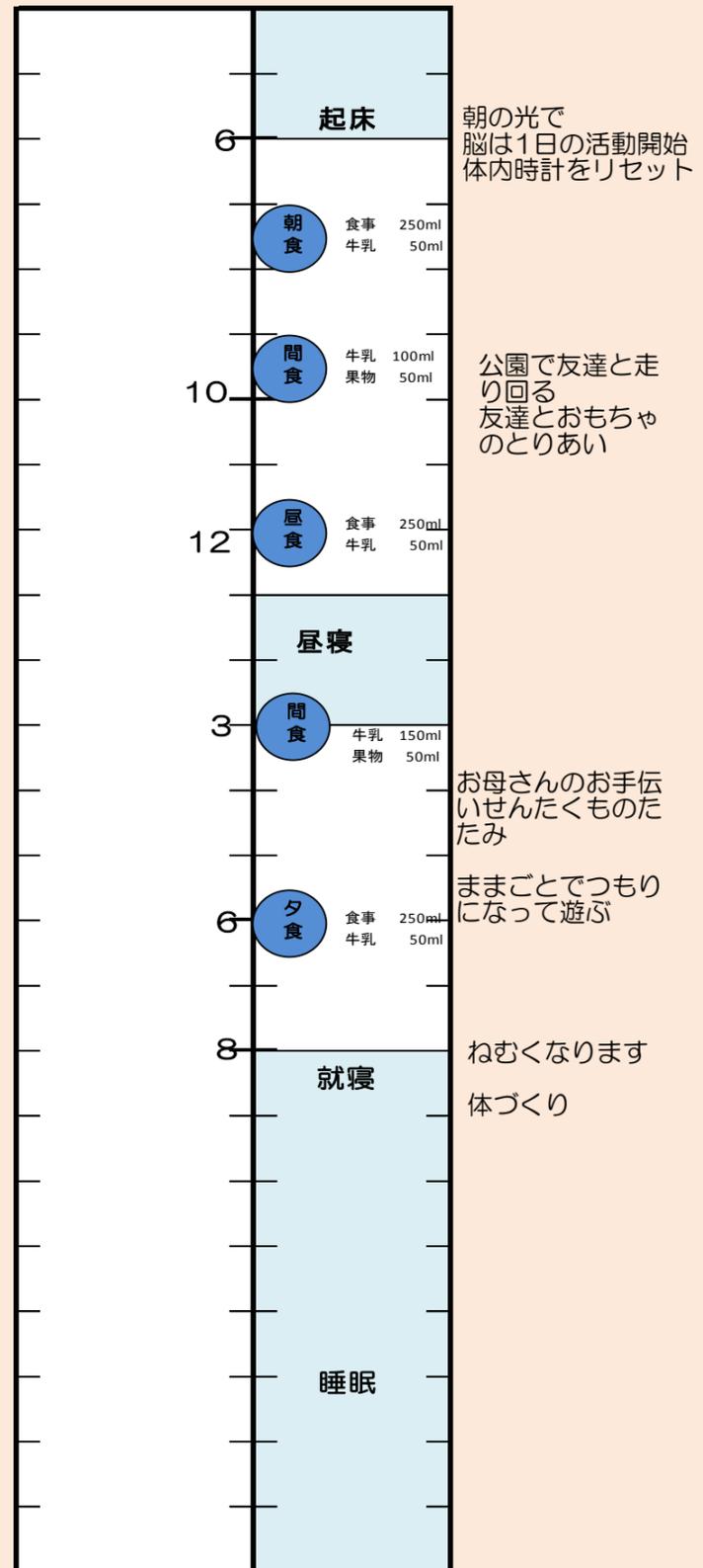
→ やってよいこととやってはいけないことを快(励まし、ほめる、意欲)と不快(しかる、がまん)で育てていきます

お母さんは戦略が必要!

やってはいけないことを不快で教えることを恐れないで！一貫した関わりを通し、できたらほめてあげましょう

生活リズム表

ちゃんの
1日の生活リズム



5 子どもの主張で生活リズムが乱れやすい時期です 朝、自分で起きていますか？

朝の光

視床下部

毎日同じ時間

夜遅かったのかわいそうだから起こさないでおこうなんてことはありませんか？

視床下部を育てるためには夜遅くなくてもいつもと同じ時間で朝は起こしてあげましょう

視床下部が育つと自律神経が働き、体温や血圧が上がってきてすっきり目覚められます